

OECD社会支出データベース 2004年版

国立社会保障・人口問題研究所

はじめに

平成14年度社会保障給付費（平成16年9月27日公表）の資料において初めてOECD基準による社会支出の国際比較を参考資料として追加した。従来掲載してきたILO基準の国際比較データが更新できずにいることを補完する意味でOECD基準による社会支出を追加掲載したのである。ILO基準（第19次調査）¹⁾は1996年が最新であり、それすら報告の無い国例えばイギリスとフランスなど多数の国あるのが実情である。このほど2001年に刊行されて以来更新されていなかったOECD社会支出データベースが2004年版として10月に公開された。2001年版ではCDで販売されたものが、2004年版からは、インターネットのウェブ上ダウンロード形式で無料配布されることになった。ここに翻訳して紹介する表はすべてインターネットでOECDのウェブサイトからダウンロードしたものである。²⁾

1. 2004年版の更新事項

2001年版では13政策分野にわかれていたものを9分野に整理統合した。それによって、区分の数は9とILO基準と同じになったが、2004年版のOECDは雇用関係の支出を「失業」と「積極的労働市場政策」の2つに分けていて、業務災害補償を障害に統合している点で両者は依然として異なっている。OECDの変更点については動向（2003）に詳しくまとめているので参照されたい。

9区分に整理統合されたOECD基準の社会支出

の項目説明は表1のとおりである。OECD基準とILO基準の最大の違いは、前者が支出(expenditure)であり後者が給付(benefit)であることで、その違いは前者が施設設備整備費等の個人に直接移転されない費用も含んでいるのに対して、後者は個人へ移転される給付だけに限定している点である。なお、ここには明示していないが、管理費(administration cost)はOECDの場合もILOの場合も別掲で、この区分のいずれにも含まれない。

OECDの社会支出の定義は次のとおりである。（翻訳の関係でOECDで給付と呼ばれている内容は上記のようにILOでいう狭義の給付ではなく、施設整備費などを含んだ支出である。）「公的および私的給付で、財政的な拠出の目標を、厚生の低下をもたらす何らかの状況にある個人または世帯の状況を向上させるためとしている制度。給付や拠出には、特定の財・サービスに対する直接支払も個人契約・個人移転も含まれないものとする。³⁾社会給付は現金給付または財やサービスの直接(現物)給付である。社会給付は制度枠組みの中で支給される給付のみを範囲とするため、世帯間やインフォーマルな関係の中で交換される移転は、社会的性質を有するとはいえ、この限りではない。」⁴⁾

ここでキーワードとなっているのは「社会的」という概念である。「何が社会的で何が社会的でないかの判断は、その給付の目的とその制度が個人間の再分配をどの程度行っているかによる。」⁵⁾個

人間再配分の機能の有無が社会的とよぶのに必要条件だというのである。

なお、2001年版では各国の詳細表ではワークシートが3枚にわけられPB・PO・PVとタイトルが付けられていたのが、2004年版では、PublicとMandatory Privateの2枚に分けられている。Public = PBで公的社会支出を表し、Mandatory Private = POで義務化されている私的社会支出を表している。2001年版にあったPVすなわち任意の私的社会支出(Voluntary Private)は2004年版では掲載されていない。

公的社会支出とは、一般政府(すなわち中央政府、州政府、地方政府であり、社会保障基金もここに含まれる)が関連して資金の流れを管理している場合に「公的」と位置づけている。この意味において、「私的」は「社会的」と対ではなく、「公的」と対になっている。⁶⁾ 義務化されている私的社会給付(mandatory private social benefits)では、雇用主や個人は、個々人のリスク分布構造や市場価格とは関係なく、その制度を採用することが強制されている。協約あるいは個人ベースで私的なものとしてその制度を採用することを、公的な財政上の介入が奨励しているということは、その制度を採用するかどうかの意思決定が、個々人のリスク分布構造や市場価格に100%基づいて行われているのではないということである。(労使の団体協約により採用された社会給付あるいは協約ベースで雇用主によって契約された社会給付についても同じことが言える。)⁷⁾

2. 日本データの構造について

表2は公的社会支出、表3は義務化されている私的社会支出、の表である。OECDが公開しているものを日本について制度を翻訳したものである。各政策分野の中を現金と現物にわけている構造がわかる。またその下部組織として、社会保険制度名等が並んでいることがわかる。どちらの表も

最後の行で、現金と現物を集計しているが、現金の方が現物より大きくなっていることがわかる。現金給付と現物給付を区別する理由は、いくつかあるが、経済学的に言えば、「現金給付は購買力を再分配していることになるが、そうした現金給付は人々の就労インセンティブや貯蓄インセンティブをゆがませるので、部分的にしか経済資源を消費しない。現金給付とは対照的に、現物給付は経済資源の消費に直結している。」⁸⁾ 現物とは保育サービスや福祉サービスなどの直接行われるサービスを表し、現金とは年金や手当のように、現金が支払われる場合の給付を表している。

3. 諸外国の動向

表4は各国の公的と義務化されている私的社会支出を合計した額の対GDP比率の推移を表している。この中から日本を含む6カ国を抜粋してグラフにしたのが図1である。OECD 21カ国⁸⁾の平均とEU平均のいずれの線よりも下にあるのは日本とアメリカである。当然ながら、社会支出規模が相対的に小さい日本やアメリカを含むOECD 21カ国の平均のほうがEU平均を下回っている。なお、本統計で時系列を見る場合、ドイツについては1991年の東西ドイツの統合を、またEU加盟国については1989年以前と1990年以後で元データであるEUROSTATの統計整備における変更による違いがあることに留意されたい。なお、詳しくはOECD社会支出2004年版の各国の注意書きに詳しく記載されている。

4. まとめ

OECD社会支出2004年版には、私的社会支出が収載されていない。このため、2001年版で大きく出ていたスウェーデンなどの国が2004年版では小さく出てきている。¹⁰⁾ なお、任意の私的社会支出を含め、税制の影響を加味した「純社会支出」(Net Social Expenditure)の研究がOECDで続

けられている。2001年にOECDが発表した同報告書は翻訳され国立社会保障・人口問題研究所のホームページからPDFファイルで入手することができる。¹¹⁾ この報告書ではアメリカについても任意の私的社会支出を含めた数値が紹介されている。アメリカにおいては医療保険や企業年金のように民間企業が担っている部分が大きく、これを加えると社会支出の規模は1997年対GDP比率で22.9%と日本の同ベースの15.1%を大幅に上回っている。¹²⁾ このように、OECDの社会支出統計を利用するときには、どの範囲で比較しているかが重要になってくる。2001年をベースとした純社会支出の研究がOECDの金融財政企業局のワーキンググループによって継続されているので、今後の動向に注目したい。

本資料に関する問い合わせは以下で受ける。
国立社会保障・人口問題研究所 企画部第3室
(電話03-3595-2985) 担当 勝又幸子

注

- 1) ILO第19次調査の詳細については勝又(2002)参照のこと。
- 2) http://www.oecd.org/document/2/0,2340,en_2649_34635_31612994_1_1_1_1,00.html
- 3) 社会給付は労働の対価たる報酬(賃金や俸給)を含まない、というのは市場活動すなわちサービスの価格に応じた受給と同時に支払われる対価ではないから。交通費・有給休暇等、雇用主の費用はこの意

味において報酬の一部と考える。ヴィレム・アデマ「純社会支出第2版」(2001)p.4

- 4) ヴィレム・アデマ(2001)p.4. 左の翻訳版は国立社会保障・人口問題研究所のホームページよりダウンロードで入手可能。
- 5) 同上ヴィレム・アデマ(2001)p.4
- 6) 同上ヴィレム・アデマ(2001)p.6
- 7) 同上ヴィレム・アデマ(2001)p.7
- 8) 同上ヴィレム・アデマ(2001)p.4
- 9) OECD 21カ国とは、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、ドイツ、フィンランド、アイスランド、スウェーデン、アイルランド、イタリア、日本、韓国、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スペイン、スロバキア、イギリス、アメリカ。
- 10) 2001年版の5カ国比較については、国立社会保障・人口問題研究所のホームページで平成13年度社会保障給付費の参考資料として掲載されている。
<http://www.ipss.go.jp/ss-cost/j/kyuhuhi-h13/referenceOECD.pdf>
- 11) <http://www.ipss.go.jp/s-info/j/shiryou/NetSocx2nd.pdf>
- 12) 清家篤(2002)p.106

参考文献

- 勝又幸子 2002「動向 社会保障費用の国際比較」海外社会保障研究 No.138 Spring
- 国立社会保障・人口問題研究所 2003「動向 社会保障費用の国際統計の動向—ILO, OECD, EUROSTATを中心として—」海外社会保障研究 No.146 Spring
- 国立社会保障・人口問題研究所 2001 経済協力開発機構雇用・労働・社会問題委員会提出 労働市場・社会政策特別報告書第52号「純社会支出第2版」ヴィレム・アデマ著(訳:国立社会保障・人口問題研究所 勝又幸子・山田篤裕)
- 清家篤 2002「実質社会保障支出に関する研究—国際比較の視点から—」厚生科学的研究費補助金政策科学推進研究事業 平成13年度総括研究報告書

表1 政策分野別社会支出の項目説明

	OECD定義 ¹⁾	日本の例
高齢	退職によって労働市場から引退した人及び決められた年齢に達した人に提供される現金給付が対象。給付の形態は年金および一時金を含み、早期退職をした人の給付もここに含めるが、雇用政策として早期退職をした場合の給付は「積極的労働政策」に計上すること。 高齢者および障害者を対象にした在宅および施設の介護サービスを計上する。施設サービスにおいては老人施設の運営に係る費用も計上する。	厚生年金：老齢年金、脱退手当金等 国民年金：老齢年金、老齢福祉年金、外国人脱退一時金等 厚生年金基金、農業者年金基金等：老齢年金等 船員保険：老齢年金 介護保険：介護サービス等諸費、支援サービス等諸費 社会福祉：老人福祉費、在宅福祉事業費等 生活保護：介護扶助 各種共済組合：退職共済年金、退職一時金等 各種恩給
遺族	被扶養者である配偶者やその独立前の子どもに対する制度の支出を計上する。	厚生年金：遺族年金 国民年金：遺族年金、死亡一時金等 船員保険：遺族年金 各種共済組合：遺族年金、死亡一時金等、埋葬料等 戦争犠牲者：遺族等年金等 政管健保、組合健保：埋葬料等 国保：葬祭諸費 船員保険：葬祭料等 (注) 遺族に係る年金給付のうち業務災害制度から支給される給付は「業務災害補償」に含む
傷害、業務災害、傷病	業務災害補償制度下で給付されたすべての給付と障害者福祉のサービス給付、障害年金や療養中の所得保障としての傷病手当金などをここに計上する。	厚生年金：障害年金、一時金 国民年金：障害年金 各種共済組合：障害年金、傷害一時金、傷病手当金、休業手当金 社会福祉：特別児童扶養手当等給付金、身体障害者保護費、社会福祉諸費 国家公務員災害補償：休業補償、介護補償 地方公務員等災害補償：休業補償、介護補償 旧公共企業体職員業務災害：休業補償 労働者災害補償保険：休業補償、傷害一時金、施設整備費等 船員保険：乗務災害関連給付、傷病手当金 政管健保、組合健保：傷病手当金等 公衆衛生：保健衛生諸費（ハンセン病療養所費補助金、エイズ予防対策事業委託費等）
保健	医療の現物給付をここに計上する。OECD Health data fileの公的医療支出の数値をここに援用する。（治療にかかる費用であって、傷病手当金は含まない。）	(注) 国立社会保障・人口問題研究所はこのデータを提供していない。
家族	家族を支援するために支出される現金給付及び家族を支援するために給付される現物給付（サービス）に当てる支出を計上する。	児童手当：給付、児童育成事業費等 社会福祉：特別児童扶養手当給付金、児童扶養手当給付諸費、児童保護費 政管健保、組合健保、国保：出産育児諸費、出産育児一時金等 各種共済組合、船員保険：出産育児諸費、育児休業給付、介護休業給付
積極的労働政策	社会的な支出で労働者の働く機会を提供したり、能力を高めたりする為の支出を計上する。障害を持つ労働者の雇用促進を含む。 OECD Employment Outlookより Active measures の合計を援用する。	(注) 国立社会保障・人口問題研究所はこのデータを提供していない。
失業	失業中の所得を保障する現金給付を計上する。なお、年金受給開始年齢であっても失業を理由に給付されるものを含むが、それが労働政策の一部であれば「積極的労働政策」に含まれる。	雇用保険と船員保険の求職者給付等が計上されているが、船員保険の給付のみ社人研が提供
住宅	公的住宅や対個人の住宅費用を減らすために給付を計上する。	(注) 国立社会保障・人口問題研究所はこのデータを提供していない。
生活保護 ²⁾	上記に含まれないが社会的給付が行われている場合を計上する。具体的には公的扶助給付や他に分類できない現物給付である。	生活保護：生活扶助、教育扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助 社会福祉：災害救助関係給付、婦人保護費 公衆衛生：原爆被害者の給付

注：1) OECD定義とはOECD Social Expenditure database2004edの基準である。

2) OECDの英語表示で最後の政策分野は「他の社会政策分野」となっているが、邦訳では最も代表的な制度として生活保護を代表させた。

表2 日本の公的・社会支出

(百万円)

Code		SOCX2000	SOCX2001	Code		SOCX2000	SOCX2001
392.10.1.0.0.0	高齢	34,771,145	36,729,939	392.10.2.2.1.1	政府管掌健康保険	23,359	21,843
392.10.1.1.0.0	現金給付	31,233,780	32,318,282	392.10.2.2.1.2	組合管掌健康保険	16,813	16,625
392.10.1.1.1.0	退職年金	31,193,732	32,258,584	392.10.2.2.1.3	国民健康保険	48,475	51,512
392.10.1.1.1.1	国民年金	9,808,044	10,527,942	392.10.2.2.1.4	船員保険	807	730
392.10.1.1.1.2	厚生年金保険	15,832,828	16,154,186	392.10.2.2.1.5	私学共済	2,140	2,000
392.10.1.1.1.3	農林漁業共済組合	314,209	318,140	392.10.2.2.1.6	労災保険	2,156	2,169
392.10.1.1.1.4	私学共済	165,761	172,542	392.10.2.2.1.7	国家公務員共済	4,846	4,925
392.10.1.1.1.5	船員保険	3,139	2,665	392.10.2.2.1.8	旧公共企業体	0	0
392.10.1.1.1.6	国家公務員共済	1,369,539	1,364,282	392.10.2.2.1.9	地方公務員共済	8,837	8,437
392.10.1.1.1.7	旧公共企業体	1,109	1,191	392.10.2.2.1.10	地方公務員共済	8,838	8,438
392.10.1.1.1.8	地方公務員共済	3,536,121	3,567,255	392.10.2.2.1.11	地方公務員災害補償	63	53
392.10.1.1.1.9	旧令共済	11,159	11,305	392.10.2.2.1.12	旧公共企業体業務災害	0	0
392.10.1.1.1.10	国家公務員恩給	60,725	56,229	392.10.2.2.2.0	その他の現物給付	213	187
392.10.1.1.1.11	地方公務員恩給	91,097	82,847	392.10.2.2.2.1	戦争犠牲者	213	187
392.10.1.1.2.0	早期退職年金	a	a				
392.10.1.1.3.0	その他の現金給付	40,048	59,699	392.10.3.0.0.0	障害、業務災害、傷病	3,303,479	3,345,585
392.10.1.1.3.1	厚生年金保険	12,833	12,569	392.10.3.1.0.0	現金給付	2,924,502	2,925,856
392.10.1.1.3.2	国民年金	17	18	392.10.3.1.1.0	障害年金	1,628,005	1,650,304
392.10.1.1.3.3	農林漁業共済組合	55	46	392.10.3.1.1.1	国民年金	1,270,804	1,294,160
392.10.1.1.3.4	私学共済	327	295	392.10.3.1.1.2	厚生年金保険	295,556	296,653
392.10.1.1.3.5	国家公務員共済	174	221	392.10.3.1.1.3	農林漁業共済組合	5,019	4,964
392.10.1.1.3.6	旧公共企業体	5	3	392.10.3.1.1.4	私学共済	1,794	1,809
392.10.1.1.3.7	地方公務員共済	23	27	392.10.3.1.1.5	国家公務員共済	12,449	12,344
392.10.1.1.3.8	介護保険	26,614	46,519	392.10.3.1.1.6	旧公共企業体共済	6,407	6,117
392.10.1.2.0.0	現物給付	3,537,365	4,411,656	392.10.3.1.1.7	地方公務員共済	35,929	34,211
392.10.1.2.1.0	介護、ホームヘルプサービス	3,537,365	4,411,656	392.10.3.1.1.8	旧令共済	47	46
392.10.1.2.1.1	社会福祉	152,445	156,474	392.10.3.1.2.0	年金(業務災害)	474,159	475,872
392.10.1.2.1.2	社会福祉	0	0	392.10.3.1.2.1	船員保険	799	829
392.10.1.2.1.3	社会福祉	3,283	225	392.10.3.1.2.2	国家公務員共済	4,077	4,704
392.10.1.2.1.4	介護保険	3,374,225	4,236,755	392.10.3.1.2.3	地方公務員共済	6,628	6,635
392.10.1.2.1.5	生活保護	7,413	18,203	392.10.3.1.2.4	国家公務員災害補償	6,922	6,498
392.10.1.2.2.0	その他の現物給付	a	a	392.10.3.1.2.5	地方公務員災害補償	16,628	17,151
				392.10.3.1.2.6	旧公共企業体業務災害	7,032	6,826
392.10.2.0.0.0	遺族	5,979,949	6,111,568	392.10.3.1.2.7	労災保険	432,075	433,228
392.10.2.1.0.0	現金給付	5,872,215	6,003,071	392.10.3.1.3.0	休業給付(業務災害)	130,313	130,113
392.10.2.1.1.0	遺族年金	5,757,158	5,886,765	392.10.3.1.3.1	船員保険	534	472
392.10.2.1.1.1	国民年金	143,408	141,351	392.10.3.1.3.2	労災保険	127,647	127,547
392.10.2.1.1.2	戦争犠牲者	1,345,420	1,283,457	392.10.3.1.3.3	国家公務員災害補償	1,551	1,555
392.10.2.1.1.3	厚生年金保険	3,210,490	3,359,793	392.10.3.1.3.4	地方公務員災害補償	557	514
392.10.2.1.1.4	農林漁業共済組合	66,500	69,738	392.10.3.1.3.5	旧公共企業体業務災害	25	24
392.10.2.1.1.5	私学共済	26,702	28,017	392.10.3.1.4.0	休業給付(傷病手当)	270,477	251,921
392.10.2.1.1.6	国家公務員共済	297,147	308,584	392.10.3.1.4.1	政府管掌健康保険	168,731	152,897
392.10.2.1.1.7	旧公共企業体	23,987	27,375	392.10.3.1.4.2	組合管掌健康保険	83,581	82,045
392.10.2.1.1.8	地方公務員共済	634,911	660,301	392.10.3.1.4.3	船員保険	5,316	3,953
392.10.2.1.1.9	旧令共済	6,134	5,608	392.10.3.1.4.4	私学共済	1,901	1,748
392.10.2.1.1.10	船員保険	2,460	2,542	392.10.3.1.4.5	国家公務員共済	1,929	1,973
392.10.2.1.2.0	その他の現金給付	115,057	116,306	392.10.3.1.4.6	旧公共企業体	0	0
392.10.2.1.2.1	戦争犠牲者	107,871	109,506	392.10.3.1.4.7	地方公務員共済	7,306	7,541
392.10.2.1.2.2	国民年金	7,120	6,749	392.10.3.1.4.8	旧令共済	1,714	1,764
392.10.2.1.2.3	農林漁業共済組合	23	18	392.10.3.1.5.0	その他の現金給付	421,547	417,646
392.10.2.1.2.4	私学共済	0	6	392.10.3.1.5.1	厚生年金保険	340	339
392.10.2.1.2.5	国家公務員共済	36	21	392.10.3.1.5.2	戦争犠牲者	660	602
392.10.2.1.2.6	旧公共企業体	7	5	392.10.3.1.5.3	農林漁業共済組合	6	3
392.10.2.2.0.0	現物給付	107,734	108,497	392.10.3.1.5.4	私学共済	2	0
392.10.2.2.1.0	埋葬費	107,521	108,310	392.10.3.1.5.5	労災保険	369,357	365,937

Code		SOCX2000	SOCX2001
392.10.3.1.5.6	国家公務員災害補償	1,208	1,013
392.10.3.1.5.7	地方公務員災害補償	3,451	3,572
392.10.3.1.5.8	社会福祉	46,523	46,179
392.10.3.2.0.0	現物給付	378,977	419,729
392.10.3.2.1.0	介護、ホームヘルプサービス	158,406	191,782
392.10.3.2.1.1	労災保険	7,492	6,797
392.10.3.2.1.2	国家公務員災害補償	13	14
392.10.3.2.1.3	地方公務員災害補償	366	621
392.10.3.2.1.4	旧公共企業体業務灾害	0	0
392.10.3.2.1.5	社会福祉	150,534	184,350
392.10.3.2.2.0	復帰支援 (リハビリテーション)	97	83
392.10.3.2.2.1	社会福祉	97	83
392.10.3.2.3.0	その他の現物給付	220,474	227,864
392.10.3.2.3.1	社会福祉	218,628	226,879
392.10.3.2.3.2	公衆衛生	1,846	985
392.10.4.0.0.0	保健	30,710,532	31,603,911
392.10.4.1.0.0	現金給付	a	a
392.10.4.2.0.0	現物給付	30,710,532	31,603,911
392.10.5.0.0.0	家族	2,754,757	3,026,879
392.10.5.1.0.0	現金給付	1,257,343	1,437,850
392.10.5.1.1.0	家族手当	720,359	865,906
392.10.5.1.1.1	児童手当	300,412	414,740
392.10.5.1.1.2	社会福祉	75,639	78,459
392.10.5.1.1.3	社会福祉	344,309	372,707
392.10.5.1.2.0	出産、育児休業	534,340	569,451
392.10.5.1.2.1	政府管掌健康保険	172,718	174,732
392.10.5.1.2.2	組合管掌健康保険	163,825	160,433
392.10.5.1.2.3	国民健康保険	76,865	77,572
392.10.5.1.2.4	船員保険	474	425
392.10.5.1.2.5	私学共済	5,583	5,543
392.10.5.1.2.6	国家公務員共済	16,102	17,780
392.10.5.1.2.7	旧公共企業体	0	0
392.10.5.1.2.8	地方公務員共済	60,899	72,046
392.10.5.1.2.9	雇用保険	37,875	60,920
392.10.5.1.3.0	その他の現金給付	2,643	2,493
392.10.5.1.3.1	地方公務員共済	2,643	2,493
392.10.5.2.0.0	現物給付	1,497,415	1,589,029
392.10.5.2.1.0	デイケア、ホームヘルプ サービス	1,497,415	1,589,029
392.10.5.2.1.1	児童手当	46,282	55,473
392.10.5.2.1.2	社会福祉	1,451,132	1,533,556
392.10.5.2.2.0	その他の現物給付	a	a

Code		SOCX2000	SOCX2001
392.10.6.0.0.0	職場の労働市場政策	1,465,300	1,441,600
392.10.6.1.1.0	雇用対策	866,000	879,400
392.10.6.1.1.1	公的雇用対策	866,000	879,400
392.10.6.1.2.0	職業訓練	160,800	166,500
392.10.6.1.2.1	成人失業者及び 高リスク失業者の再訓練	160,800	166,500
392.10.6.1.3.0	若年者対策	18,300	20,300
392.10.6.1.3.1	若年者対策	18,300	20,300
392.10.6.1.4.0	失業対策補助金	386,100	347,200
392.10.6.1.4.1	補助金付雇用	386,100	347,200
392.10.6.1.5.0	障害者補助金付雇用	34,100	28,200
392.10.6.1.5.1	障害者対策	34,100	28,200
392.10.7.0.0.0	失業	2,817,600	2,313,200
392.10.7.1.0.0	現金給付	2,817,600	2,313,200
392.10.7.1.1.0	失業給付、退職手当	2,817,600	2,313,200
392.10.7.1.1.1	雇用保険	2,817,600	2,313,200
392.10.7.1.1.2	船員保険	x	x
392.10.7.1.2.0	労働市場理由による早期退職	a	a
392.10.7.2.0.0	現物給付	a	a
392.10.8.0.0.0	住宅	a	a
392.10.8.1.0.0	現金給付	a	a
392.10.8.1.1.0	住宅手当	a	a
392.10.8.1.2.0	その他の現金給付	a	a
392.10.8.2.0.0	現物給付	a	a
392.10.8.2.1.0	住宅扶助	a	a
392.10.8.2.2.0	その他の現物給付	a	a
392.10.9.0.0.0	生活保護	781,026	817,859
392.10.9.1.0.0	現金給付	768,203	808,741
392.10.9.1.1.0	所得補助	654,890	695,694
392.10.9.1.1.1	生活保護	654,890	695,694
392.10.9.1.2.0	その他の現金給付	113,313	113,048
392.10.9.1.2.1	社会福祉	1,222	278
392.10.9.1.2.2	公衆衛生	110,601	111,514
392.10.9.1.2.3	地方公務員共済	1,490	1,256
392.10.9.2.0.0	現物給付	12,823	9,117
392.10.9.2.1.0	社会扶助	5,505	182
392.10.9.2.1.1	社会福祉	5,505	182
392.10.9.2.2.0	その他の現物給付	7,317	8,926
392.10.9.2.2.1	公衆衛生	4,111	5,560
392.10.9.2.2.2	社会福祉	3,207	3,376
392.10.90.0.0.0	合計	82,583,787	85,390,540
392.10.90.1.0.0	現金給付	44,873,641	45,807,000
392.10.90.2.0.0	現物給付	36,244,846	38,141,940

表3 日本の義務化されている私の社会支出

(百万円)

Code		SOCX2000	SOCX2001
392.20.1.0.0.0	高齢	2,581,689	2,953,367
392.20.1.1.0.0	現金給付	2,581,689	2,953,367
392.20.1.1.1.0	退職年金	2,003,870	2,408,870
392.20.1.1.1.1	厚生年金基金等	1,671,507	2,157,707
392.20.1.1.1.2	農業者年金基金等	332,363	251,163
392.20.1.1.2.0	早期退職年金	a	a
392.20.1.1.3.0	その他の現金給付	577,819	544,497
392.20.1.1.3.1	厚生年金基金等	574,225	521,548
392.20.1.1.3.2	農業者年金基金等	3,594	22,949
392.20.1.2.0.0	現物給付	a	a
392.20.1.2.1.0	介護、ホームヘルプサービス	a	a
392.20.1.2.2.0	その他の現物給付	a	a
392.20.2.0.0.0	遺族	1,411	1,293
392.20.2.1.0.0	現金給付	1,411	1,293
392.20.2.1.1.0	遺族年金	a	a
392.20.2.1.2.0	その他の現金給付	1,411	1,293
392.20.2.1.2.1	農業者年金基金等	1,411	1,293

Code		SOCX2000	SOCX2001
392.20.2.2.0.0	現物給付	a	a
392.20.2.2.1.0	埋葬費	a	a
392.20.2.2.2.0	その他の現物給付	a	a
392.20.3.0.0.0	障害、業務災害、傷病	a	a
392.20.4.0.0.0	保健	a	a
392.20.5.0.0.0	家族	a	a
392.20.6.0.0.0	積極的労働市場政策	a	a
392.20.7.0.0.0	失業	a	a
392.20.8.0.0.0	住宅	a	a
392.20.9.0.0.0	他の社会政策分野	a	a
392.20.90.0.0.0	合計	2,583,101	2,954,659
392.20.90.1.0.0	現金給付	2,583,101	2,954,659
392.20.90.2.0.0	現物給付	a	a

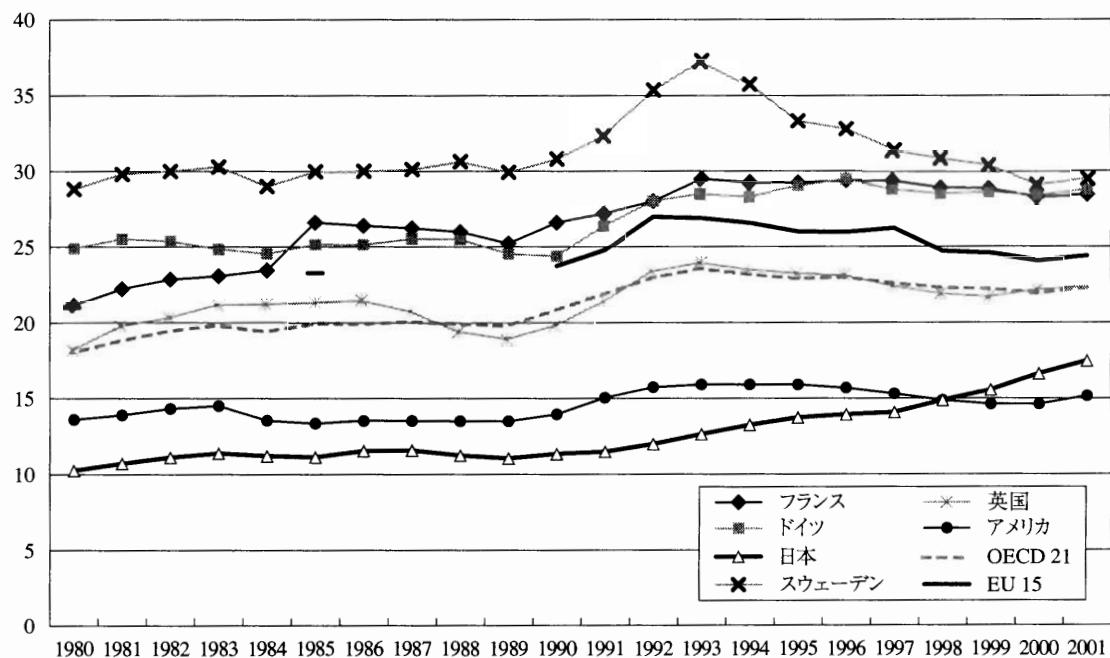


図1 OECD社会支出(公的+義務化されている私の社会支出)の対GDP比率の推移

表4 OECD社会支出(公的+義務化されている私的社会支出)の対GDP比率の推移

	(%)													
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
オーストラリア	11.2	12.3	12.9	13.3	13.5	13.4	13.2	12.4	12.7	14.2	15.4	16.4	16.8	18.9
オーストラリア	m	m	m	m	m	m	m	m	m	25.1	25.4	26.0	27.6	28.2
ベルギー	25.1	26.7	27.3	27.7	26.7	27.6	27.5	27.2	27.0	26.1	26.9	27.7	28.4	29.9
カナダ	14.3	14.7	17.2	17.4	17.2	17.4	17.4	17.1	16.8	17.2	18.6	21.1	21.8	21.6
チエコ共和国	m	m	m	m	m	m	m	m	m	17.0	18.3	18.7	19.2	19.2
デンマーク	29.1	29.4	29.6	29.9	28.7	27.9	27.0	27.8	29.2	29.5	29.8	30.6	31.1	32.8
フィンランド	18.5	18.9	20.0	21.0	21.9	23.0	23.6	24.1	23.1	24.8	29.9	33.9	34.1	33.2
フランス	21.1	22.2	22.9	23.1	23.5	26.6	26.4	26.2	26.0	25.2	26.6	27.2	28.0	29.5
ドイツ	24.9	25.5	25.4	24.8	24.5	25.2	25.1	25.5	25.5	24.5	24.4	26.4	28.0	28.5
ギリシャ	11.5	13.8	16.2	16.9	17.2	17.9	17.7	17.7	16.4	17.5	20.9	20.1	20.2	21.1
ハンガリー	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
アイスランド	m	m	m	m	m	m	m	m	m	17.8	18.6	19.2	19.6	19.7
アイルランド	17.0	17.1	17.7	17.9	17.3	22.1	22.2	21.4	20.0	18.4	18.6	19.5	20.4	20.3
イタリア	19.2	20.7	21.3	22.5	21.9	22.2	22.2	22.8	23.0	24.8	25.3	26.3	26.5	26.1
日本	10.3	10.7	11.1	11.4	11.2	11.2	11.6	11.3	11.1	11.4	11.5	12.0	12.7	13.3
韓国	m	m	m	m	m	m	m	m	m	4.2	4.0	4.4	4.5	4.7
ルクセンブルク	23.5	25.2	24.4	24.6	23.2	23.0	22.2	23.3	22.4	22.4	22.8	23.1	23.0	23.8
メキシコ	m	m	m	m	m	1.8	1.7	1.8	2.0	2.7	3.8	4.3	4.6	4.9
オランダ	27.3	28.2	29.9	30.1	28.9	27.6	27.3	27.0	26.6	28.0	28.1	28.7	28.9	27.7
ニュージーランド	17.2	17.4	18.3	18.2	17.5	18.1	17.9	18.7	20.2	21.5	21.9	22.3	22.2	20.4
ノルウェー	18.1	m	m	m	m	19.5	m	m	24.5	25.6	25.8	26.9	27.9	27.7
ポーランド	m	m	m	m	m	m	m	m	m	15.5	22.1	26.2	25.6	24.4
ポルトガル	11.1	12.0	11.3	11.4	11.3	11.4	12.3	12.5	12.7	12.3	14.1	15.1	15.8	17.4
スロバキア共和国	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
スペイン	15.9	17.0	17.1	17.8	17.6	18.2	17.9	17.8	18.3	18.5	19.5	20.3	21.4	22.5
スウェーデン	28.8	29.8	30.0	30.3	29.0	30.0	30.0	30.1	30.6	29.9	30.8	32.4	35.3	37.3
イスラエル	16.1	15.8	16.8	17.6	17.5	17.4	17.7	18.2	18.4	18.2	19.9	21.9	23.6	24.5
トルコ	4.3	4.5	4.9	5.2	4.5	4.2	4.4	4.6	5.3	6.4	7.6	8.2	8.5	7.9
英国	18.2	19.8	20.3	21.2	21.3	21.2	21.5	20.7	19.4	18.9	19.8	21.4	23.4	24.0
アイル	13.6	13.9	14.3	14.5	13.6	13.4	13.6	13.5	13.5	14.0	15.0	15.7	15.9	15.7
OECD21カ国平均	18.0	18.8	19.4	19.8	19.4	20.0	19.9	20.1	19.9	19.8	20.8	21.9	23.0	23.6

出所：OECD SOCX 2004ed
mは数値が無いことを意味する。

参考資料：平成14年度社会保障給付費の参考資料として掲載したOECD基準による社会支出の国際比較で紹介した各国の元データ(各国通貨百万単位)とそこで用いられたGDPの値を以下に掲載する。

参考表1 公的社会支出(PUBLIC EXPENDITURE)

(各国通貨単位 百万)

	1980	1985	1990	1995	2000	2001
フランス	92,879	193,617	268,521	345,490	402,397	419,854
ドイツ	176,198	225,671	290,695	494,568	551,506	568,024
日本	25,303,577	36,470,376	50,270,739	67,794,838	82,583,787	85,390,540
スウェーデン	158,138	269,551	437,549	583,510	627,840	655,394
英国	42,375	76,282	110,343	168,016	208,657	219,627
アメリカ	359,956	531,856	761,866	1,120,744	1,370,237	1,470,967

出所：OECD SOCX 2004ed

参考表2 義務化されている私的社会支出(MANDATORY PRIVATE SOCIAL EXPENDITURE)

(各国通貨単位 百万)

	1980	1985	1990	1995	2000	2001
フランス	a	a	a	a	a	a
ドイツ	14,611	14,597	20,190	28,301	26,758	28,598
日本	193,672	392,772	735,913	1,304,999	2,583,101	2,954,659
スウェーデン	a	a	a	6,100	12,100	13,300
英国	567	864	1,508	2,009	4,844	5,355
アメリカ	9,872	17,164	30,466	33,269	38,134	39,194

出所：OECD SOCX 2004ed

参考表3 各国GDP

(各国通貨単位 百万)

	1980	1985	1990	1995	2000	2001
フランス	439,384	727,369	1,009,345	1,181,849	1,420,138	1,475,584
ドイツ	766,600	955,300	1,274,900	1,801,300	2,030,000	2,073,700
日本	248,225,750	330,580,725	449,039,400	502,140,925	511,896,475	505,588,250
スウェーデン	548,581	899,754	1,421,418	1,770,248	2,194,967	2,266,387
英国	236,271	361,543	564,512	730,205	961,958	1,006,514
アメリカ	2,714,725	4,105,325	5,673,025	7,252,125	9,624,775	9,955,300

OECD (2004), National Accounts of OECD Countries: Main Aggregates, Volume I, 1991–2002

出所：OECD SOCX 2004ed